

# 加西市議会だより

council reports No.110

## 第211回定例会を開催

第211回加西市議会定例会を12月1日から22日にかけて開催。一般質問では、議長を除く18人の全議員が登壇し、加西南産業団地へ進出したバイオマス関連企業の国の交付金事業の取り下げについての集中審議も行われました。本会議、委員会においていずれも慎重審議を行いました。市営駐車場とオクタウン加西の指定管理者の指定にかかる2議案は、障害者雇用の不安や地元説明の不足を訴える意見が多く否決。また平成18年度加西市一般会計補正予算(第3号)は、庁舎改修費(休憩室を会議室へ)は計画的に当初予算で提案すべきとの声が多く、これを削除し修正可決。その他平成17年度決算案件10件を含む25議案を認定、同意または可決しました。

## CONTENTS

2~6 主な一般質問

7 定例会議決結果等一覧

8 ちびっ子議員登場・審議日程等



### 加西市で最後の開催となった兵庫県郡市区駅伝大会

2月4日(日)、男子第61回、女子第22回兵庫県郡市区駅伝大会が開催され、加西市チームは総合成績で男子が25位、女子17位と地元の声援に応える力走をみせました。なお、加西市での開催は19回目となる今年が最後となりました。

# ここが聞きたい 市政をたぐす

## 一般質問



もっと詳しく!!

もっと詳しく学校問題、病院経営、まちづくり...etc聞かせてちょうだい。

12月11、12、13日の本会議では、延べ25人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。

### いじめの現状と対策

**Q** いじめによる中学生の自殺という痛ましい事件が急増し、大きな社会問題となっている。幸い本市にはそういった事件は発生していないが、小学校でも中学校でもいじめの増加が報告されている。本市におけるその実態と現状について尋ねる。

また、先般いじめのメール事件があったと聞いた。その通報が学校からでなく、教育委員会にメールがあり、学校教育課が対応されたと聞く。この件に関し、講じられた対策と効果を尋ねる。

**A** 市内の小・中学校のいじめの発生件数は、平成16年度は小学校で1件。中学校で15件。平成18年度11月末現在で、小学校で3件、中学校で19件。

ご指摘のメールを使いたいじめも発生しております。その中身は、ある生徒のブログに悪口をまず自分で書く。それから、仲間にも悪口を書くように強要し、かなりの生徒から悪口が書き込まれたとい

うのは事実です。被害生徒が教師に訴え、いじめの実態がわかり、学校は、それぞれに指導し、現在は解決していると考えています。

学校としていじめを許さない毅然とした態度がまず必要で、多方面、多角的にその解決に当たっています。その次には早期発見、そして早期指導だと考えます。

### 三洋電機の跡地と新たなまちづくり

**Q** 三洋電機北条工場の広大な土地がどう生かされるのか、大きな関心事の一つ。寄せられたパブリックコメントを行政としてどう受けとめるか。

都市計画審議会では、附帯意見を付けて工業地から商業地への用途変更を承認したが、今後行政としてどのような取り組むのか。民間の土地の売買による事業に、市としてどんな形でどこまでかかわっていくのか。大店舗が来ることによつてどういったメリットや課題があるのか。

**A** アステアかさいや既存商業施設に与え

る影響、一極集中、環境問題、交通渋滞等73件のパブリックコメントをいただき、これらに対し市のホームページで懸念される課題等について市の考え方を公表しています。これらの意見も踏まえ、都市計画審議会の附帯意見付答申となったもので、今後大店法、河川法、都市計画法等関連法令による具体的な手続きの中で、市の考えをはっきり主張し、今後とも市民と行政の継続した協議が必要です。この計画は、あくまでも純粋な民間事業で、計画地内の基盤整備は開発者負担ですが、市も市街地の活性化に資するような周辺地とのつながりを持たせていく新たなまちづくりプラン策定の必要があります。

虫食いの開発や遊休地の長期間放置ではなく、跡地全体を一体的に、河川沿いを利用するなど、計画的な開発が可能なのは大きなメリットですが、既存の商業施設に与える影響が懸念され、既存商業施設の経営安定化や周辺環境の改善が大きな課題です。



## 善防グリーンパーク

**Q** このグラウンドはいつ一応の整備が完了し、設置管理条例ができて市民が使用できるようになるのか。18年度予算で善防グリーンパーク整備費200万円が計上され、議会も承認している。この工事がいまだにできてないのは、市長が入札をされないからと聞く。なぜ完成間際になって予算のついている工事を放ったらかしているのか。グラウンドがオープンできるのの思いで記念植樹をされたたたくさんの人の善意を踏みにじるのではないか。

**A** 加西市には、加西球体育センター等々、テニスコートなど含めて多くの施設があり、これを有効に活用する方が先で、これ以上投資を続けていく必要はないという判断で、善防グリーンパークを体育施設として整備するのではなく、グラウンドゴルフやゲートボール等、軽スポーツのあまりお金のかからないもの、あるいは開放的で多目的な公

園にしていた方が加西市の現状に合っていると考えます。過去のやり方をいま問い直す必要があります。そのまま投資をして黙って工事を進めることはできません。現状のままでも使おうと思えば使えるので、後々の問題を解決することなく、このまま過去からの情性で事業を進めたくはありません。

## 病院の現状と今後の方針

**Q** 加西病院の経営の厳しさは、9月30日の病院フォーラムで、市民の多くに知っていただけだと思つた。フォーラム以降の加西病院の状況変化と、他市の病院の取り組みの見解を聞く。

**A** 山邊院長が11月26日に小野市で開催された医療フォーラムで総合病院の設置や、赤字を問題視するよりも云々というコメントの真意を問う。

**A** 残念ながら、フォーラム以降、医師の確保、医師の紹介等はまだまだできていません。加西病院の今後の課題は、一つ目は、医師確保、二つ目は病院経営の健全化、

三つ目は今年度の目標である病院機能評価受審です。現在在職中の医師の病院離れの対策を講じるとともに、医師確保について一層の努力をします。北播の公立病院において患者数の減少によって収益減が見込まれる状況で、医師確保の努力はどの病院もしています。ただ、西脇市で現状の医師を温存するために救急手当増額の報道があり、加西病院も救急体制の充実を、救急手当の増額等も含めて検討しています。

赤字を問題視するより社会保障の一つとして警察や消防などと同じく公的病院を見てほしいという院長発言に関しては、程度問題だと思つています。赤字負担に対して市民の理解が得られるのであれば、その範囲内で赤字は容認して結構かと思つています。

## 市長の政治姿勢について

**Q** 市が処理すべき事務は多岐にわたり、その

の事業の重要度において、課長、部長、助役、そして市長と

決裁規程が決められている。すべての事業の決裁を市長までとすれば、市長は忙しく決裁の時間が長くなり、事務が停滞し、申請者や市民に迷惑がかかることにならないか。

**A** 決裁規定に基づいて業務を執行する方が効率的であることは、よく理解しています。したがって、すべて市長決裁ということではなく、改革を進めるために重要なポイントについては、たとえ小さな点であっても、今後の加西市の体質改善という意味で指示していますが、当然任せるべき点は任せていきますし、市長の方針や市民のための行政サービスの取り組み姿勢を体得した職員に対しては、権限委譲をしていきたいと思つています。

## 総合計画と改革マニフェスト

**Q** 加西市の総合計画は、平成13年8月か

ら10年間ということとで、前期5年が経過し、既にこの8月で後期の期限にはいつているが、改革マニフェストの関係で計画の改正は行わないのか。

**A** 加西市改革マニフェストは、決して政党の選挙公約、また市長の公約ではありません。加西市が抱える課題に対する加西市全体の取り組みや施策の具体案を明記するものです。上位計画である総合計画の基本構想、それから基本計画があり、その下に施策を進めるための実施計画として改革マニフェストを作成しています。しかし、改革マニフェストの各項目は、まだまだ課題解決のための方針や取り組みを大枠で明記した段階にすぎませんので、詳細については13のワーキンググループを中心に、検討作業を現在順次進めています。現行の第4次総合計画は、平成19年に計画の見直し、点検を予定しています。その際には改革マニフェストの各項目で検討されている具体的な取り組みが施策となって基本構想、基本計画等に反映されると考えます。

## 教育問題

**Q** 学校週5日制が定着し、授業時間の確保が難しいと考える。授業時間をどのように確保しているのか。現在多くの自治体が2学期制を採用しているが、どう考えるか。

**A** いじめは10月までで小学校が3件、中学校が19件。いじめの判断基準に問題があるのではないか。案外無視するというのが、重要だと思うがどうか。いじめられる方にもそれなりの理由があるとの発言もあるが、やはりいじめる側が100%悪いと考えるがどうか。

**A** 加西市の授業時数は980時間を既に確保しており十分だと思いません。試験回数、通知表、家庭訪問など、2学期、3学期の比較をしたときのメリットは少ないので2学期制に移行する必要はないと判断しています。ただ、確かに2学期制が増えてきていますので、引き続きトレースをしていきたい。

いじめの判断は、現場的には難しいと思います。ぜひしっかりと見ていじめはあつてはな

らないという基本的な理解にたつて、生徒の日常的な観察が第一です。家庭での変化がないか、家庭との連絡連携も大事だと思えます。命の大切さ、生きる喜びがわかる学校にするのが王道と考えます。

無視は、簡単にでき、かつすぐに広がっていく行為で、しかし受ける者には物すごく痛いことで重視しています。いじめられる方にも理由があるとは立っています。いじめは絶対的な悪だと考えます。

## 市長の政治姿勢

**Q** 首長と議会の関係は車の両輪、片方が暴走したり違った方向に進むと、脱輪や横転してしまう。中川市長は、最近議会を軽視した行動や発言が多過ぎる。市政をより効率的に運営するため、冷静に考え、正常な関係を構築されることを強く望む。

**A** 首長と議会の望ましい関係と、現在の首長と議会の関係をどう考えるか。正常な関係を構築する努力をする考えはないか。

**A** 執行者と議会の関係は、一方だけが努力しても、他方にその意識がなければ良好な関係構築は難しい。お互いの権能や立場を理解し、高度な議論を戦わせて市政に取り組んでこなかった結果が、大幅な赤字財政や市政改革の遅れをはじめ、加西市のいまなお惨めな状況になつていっていると思います。

議会軽視の言動ということですが、私は選挙での立場を超えて是々非々で対処してきました。前向きな議論にならないとすれば、私の対応も改めざるを得ません。なれ合うことなく、またしがらみもなく、適度な緊張感を持って、市民本位で政策論争していくべきなのは、議会も同じだと思います。私はこれからも議会と良好な関係を保つように努力しますが、首長が変わつて、これまでのやり方を私が見直そうという時期ですから、議会の皆さんも新たな政治姿勢で対応していただきたい。

## 幼稚園について

**Q** 公立6園、私立6園の構想で、九会幼児

園も立ち上げに一番大きな問題は、田原保育園の存続問題です。一旦は田原保育園を残す方向で検討とのこと、地元保護者の方々は、残してもらえないものと思つておられたところ、ここにきて九会幼児園に統合とのこと。地元の方々にとっては納得がいかないのも当然。市長は田原保育園を残す方向で最初考えていたのだから、みずから地元へきちつと説明責任を果たされてはどうか。

**A** 現在は3園統合の方針です。田原保育園を残せる方法をいろいろと思索し、私立保育園の分園とすることも含め、特色ある地元の園なので、種々検討、また打診もしましたが、最終的に条件にかなうところがありませんでした。公募も、市内の保育園関係者の利害関係が大変強く、よそ者は入れたくないという地域ですので、反対があったように理解しています。こういう話は利害関係者だけの声を聞くと、判断がつかないので、最終的に加西市の5年さき、10年さきを考えて判断

すれば、間違いないと思います。時期が到来すれば説明会へ市長の参加出席も考えますが、私が田原に関しては今詳しく知識がありません。私がいきなり出て、とんちんかんな答弁をするよりも、教育長以下で対応する方が、当面はいいと思います。

## 生涯学習の推進

**Q** 生涯学習は、時代の変化の中で中身が変わってきている。自分の能力開発と地域の活性化・振興とを結びつけるような企画や講座を、今後公民館として呼びかけていく必要があるのではないか。

**A** 各公民館を拠点にして特色ある地域づくりを展開していたらと思うが、積極的に自分も楽しみながら、公民館の仕事ができるような若手職員登用等、十分な職員体制も必要になるのではないか。公民館の推進体制の強化をどう考えるか。

**A** これからの公民館は、社会教育の重要な拠点施設として積極的に進めていかねばならないと思



ます。公民館主事などを配置して、単なる貸し館ではなく主催事業を中心に、社会の学び舎のような構成をしていかなばと思います。どちらかというとボランティアやNPOを志向しているようなところが、お互いに統合して、より力のある組織に生まれ変わっていかねばならない。

まず公民館に人が集う中から課題が発見され、その課題について学習する、学習した結果を引っさげて社会へ出ていく。そういう構造構図で公民館を捉えています。職員体制については、過日の人事ヒアリングでは、正職員1名を公民館主事的な人にすえ、加えて事務担当、館長の少なくとも3名構成で話をしています。

## バイオマス事業の計画の取り下げ

**Q** 市長は、バイオマスタウン構想の目玉として、リサイクル飼料を製造するバイオマスグリーン企業の誘致を支援され、広く宣伝してこられた。市長自ら農水省に直接働きかけ、バイオマスの

環境づくり交付金事業として補助金を確保されてきたのに、ここに来て取り下げとなった理由は何か。事業化の再開のめどを企業はどう考え、撤退もあり得るのか。市長の責任問題をどう考えるか。

**A** 取り下げの主な理由は、この事業に係る資金融資の中心的役割の中小企業金融公庫の資金融資が、不可になったことです。操業後の平成20年5月期のエピソードの計画販売量の80%の買い手の確保が、融資審査の条件とされ、事業者は短期間で対応もできず、結果として取り下げとなりました。

今後は、事業計画の再構築をする必要がありますが、企業は、県の担当職員に対して、この事業を再開する意思を伝えたと聞いています。

市長の政治責任は、今回はそういう筋合いのものではありません。取り下げは、あくまで民間事業者の判断で、二、三週間ぐらいたったと思いますが、次の方向性が見いだせるころに、県や国に出向いて状況説明や釈明をさせていただける

ばと思います。

## 北条地区(旧市街地)のまちづくり

**Q** 三洋電機北条工場周辺が整備されても、旧市街地はまた取り残されるのではないか。イオンに三洋電機北条工場跡地のまちづくり整備をまる投げした地区計画では絶対いけない。旧市街地に、将来よい結果が出るような地区計画をつくらなければならない。

**A** 旧市街地の防災を中心にしたまちづくりで、いままで北条市街地で、平成8年の街並み環境整備方針が出てから約10年間、北条の旧の市街地もまちづくり協議会等を結成していただき、整備してきましたが、17年度末の事業費を見ても思うように進んでいない現状の中で、今後の北条地区のまちづくりは

## 小中学校の教育環境の充実

**Q** 教育予算が近年少なくなっているとの声を聞く。全予算で教育費の占める割合を、近隣市と比較し、その理由を尋ねる。

保健室のエアコン設置は、県下では設置校83%。北播各市は100%設置と聞く。本市は、加西養護学校1校だけである。早急に保健室にエアコンを設置すべきであると思ふがどうか。

**A** 本市の予算の中に占める教育費の割合は、平成14年10.6%。平成15年9.6%。平成16年8.4%。平成17年9.2%。本年が8.7%で、財政的な事情でこの教育予算を減らしたわけではなく、児童・生徒の絶対数が減少

したことが大きいと思います。ちなみに、西脇市は平成17年度7.5%だったものが今年度は9.5%に増えています。小野市は、逆に平成17年度12.5%が、9.6%に今年度は減っているように、各自自治体とも増減があります。教育の基盤整備は、大変重要な将来にわたる投資で、行政として最も力を入れるべき事業の一つだと思います。エアコンの設置は、保健室を冷やすことが健康にどうかと考えていたが、多くの市で設置が進んでおり、いまの子どもたちにとって保健室にエアコンがある方がよいと思うので、今後は努力をしたい。

少なくとも加西市が近隣に遅れをとらないように、老朽化した教育関係の施設、給食センター等の建てかえを視野に入れ、相当な比率を今後は保っていききたいので、ご理解いただきたいと思います。

## ライフラインにおける安心・安全のまちづくり

**Q** 防災問題で、ライフラインの確保も大切。一方通行で上水を供給し

たことが大きいと思います。

ている所がまだ何カ所かあるが、上水道管のループ化の進捗状況はどうか。

加西市の水道管はダクタイルがほとんど。神戸等では震災以後S2の耐震管に置き替えられている。価格は高くとも、この投資が将来に役立つよう耐震用S2管の配管に取り組んではどうか。また、災害時にどれほどの水の備蓄があるのか。

**A** 水道のループ化は、16カ所、延長9,000mを整備計画に基づき進め、昨年度までに約6,000mを実施。残りは5カ所、延長1,600m余りで、下水道関連事業と相互を図り順次進めていきます。

耐震用の水道管は、特に地震のおきやすい箇所を使用しています。費用は、耐震用水管渠使用の場合、通常の1.5倍、一般部の水道管では、通常の1.2倍程度を要し、近隣の市町も積極的な耐震管への更新は行っていません。20年度に下水道事業が完了すると、残りV.P管が約20キロ、石綿管が13キロ、合計30キロ余りで、事業費は20億円を超える予定。財政状況等を勘案し、

計画的に進めていきます。

水の備蓄は、北条の市街地に100トンの防火水槽兼飲料水があり、北条市街地の住民が3日間過ごせます。消防の応援協定等により、半日もすれば、他市の方から食料等が入ってくると考えます。

### 子育て支援に関連して、幼稚園休園規程について

**Q** 幼稚園構想、新学校構想の中で、幼稚園や保育園をどうするのか、行政すらまだ焦点が定まっているとは言えない。このような段階で、15人以下は幼稚園の休園の対象とすることで、賞金だけでなく下里、宇仁、日吉、西在田、各地域に不安が広がっている。

行政の構想が市民に受け入れられて、しっかり施設として形ができるまで、現在の園を維持し、安心して子育てできる体制を守るべきで幼稚園休園規程の廃止を求めます。

**A** 幼稚園の休園問題の根本的な原因は、26園体制に400人足らずの幼児がいるところです。これをぜひ議会の方でも考えをいた

だきたい。

指摘のように、預かり保育つきの幼稚園を置いていけば、必ず希望者も増え存続可能だと思えます。ただし、現行の体制の中で、果たしてそれが市の施策としてよいものかどうか、ぜひお考えをいただきたいと思います。やはり去年私らがお互いに決めた弾力条項を一年経つか経たないうちに、またまるで違ったものになってしまうという、撤回、撤回になるのはいかなものかと思えますし、相対的な過剰状態を解消していくことにごそ知恵を絞っていかなければいけないと思います。

### 加西病院の経営危機

**Q** 加西病院の医業収入の5億数千円減少は、今年度になって初めて起こったことは明白で、歴代市長等の責任ではなく、医師の神経を逆なでするような、給料を阪神間よりも高い給料を払ってますとかを平気で言う市長の発言や不適切な措置により起りており、まさに現市長に責任の一端があると思われるが、どう考えるか。何もしな

いで病院が成り立ったわけではない。そういう努力をしているのか。

**A** 病院や下水道事業を筆頭に、加西市は非常に危機的な状況と認識していますが、私の発言で病院の医師が減ったとは、私は考えていません。なぜそういう言い方をされるのか、とても心外です。

私は、加西市民に必要な地域の医療サービスを守っていくと全力を挙げて取り組むことを病院フォーラムでも申し上げました。私が医師の神経を逆なですって、それが原因で医師がいなくなったというような事実は全くございません。なぜなら、私には医師の人事権がないのです。医師は私の方、市長に人事権があるとは思ってないと思います。人材供給は大学にいま依存しています。それから、日本の医療制度、あるいは保険制度のゆがみというのは、国が定めたものです。

### 宇仁小学校の建設問題

**Q** 11月16日地元で新学校構想を含めた説明

会に、教育長のみ出席されたのはなぜか。

現在の規模に応じた学校でよいと、たびたび校区の方々が申されているにもかかわらず、夢のような話で皆さん驚いていた。今後のあり方についてどう考えるか。

この新学校構想では予算と土地の面積はどれくらいかかるか。費用が30数億、土地も4倍要るとも聞く。これだけお金が苦しいときに、現状の小学校なら5億か6億でできると思う。なぜ30億の債務を負ってやらないといけないのか。

**A** 市の説明会を公式にしたことはありません。先般、神戸大学の藤岡助教を地元が招かれ、自主的に開かれた勉強会に教育長も呼ばれました。

対立するところ、あるいは争点よりは一致できるところの方が多く考えます。こういう考え方もあり得るのだという柔軟性をもって、ぜひ話し合っていたきたい。今のようにお互い何か出来るものも出来ない状態にしておくことの方が、むしろ問題だと思えます。



費用は、(多可町の)キッズランドクラスで7億、それ以上になることは事実だが、30億もかかるとは思いません。

老朽化している学校の建物は、その他の公共工事を後回しにしても、早期に着手するために学校整備計画を早急にまとめたい。最終的には政治判断で決着をつけたい。

## 九会地区の開発計画

**Q** 鷗野飛行場の跡地利用の計画は怎么样了なっているか。飛行場建設時に迷惑をかけた地元の方々への対応、今後の進み具合と諸問題の解決は怎么样了なっているか。土地を提供された地元の方々や区長さんと、自衛隊の幹部との座談会を怎么样了か。

藤岡市長の頃に桑原田と栄町の周辺に、県の住宅供給公社が面積約80畝の土地に住宅約3000戸程度の建設計画があり、阪神淡路震災で中断した。地元の方への説明会も済み、測量に入る寸前だったが、現在の状況を尋ねる。

**A** 本年4月に防衛庁へ市長が出向き、守屋

事務次官に面談、それを受け大阪防衛施設局施設部長等が加西市へ来られ、市で跡地利用計画を作成し、有効活用が図れるならば、防衛施設庁は払い下げの協力をするとの回答をいただいた。平成19年度にプランの作成、20年度に向けて払い下げの方向で検討しています。現在、ワーキンググループを設置し、跡地の有効利用の検討を行っています。

ご迷惑をかけた地元の方には、決して払い下げには反対ではないが、当時いろいろな苦労もあつたことを知ってほしいとのこと、地元の意見を十分お聞きし、慎重に対応したいと思います。

兵庫県特定用地、栄・桑原田地区の土地利用計画は、震災で中断し、復興に多大な費用を要するという理由で、特定用地から除外、凍結、また事業縮小の考えが示されました。市は県に対して特定用地から除外せず、推進保留地としてとどめるようお願いしていますが、その確約はいただいています。

## 第211回 加西市議会 定例会議決結果

平成18年12月1日(金)～22日(金)

- 議案第79号 平成17年度加西市一般会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第80号 平成17年度加西市有線放送電話特別会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第81号 平成17年度加西市国民健康保険特別会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第82号 平成17年度加西市介護保険特別会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第83号 平成17年度加西市老人保健医療特別会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第84号 平成17年度加西市公園墓地整備事業特別会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第85号 平成17年度加西市農業共済事業会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第86号 平成17年度加西市水道事業会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第87号 平成17年度加西市下水道事業会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第88号 平成17年度加西市病院事業会計の決算認定について **原案認定**
- 議案第89号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて **原案同意**
- 議案第90号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**
- 議案第91号 指定管理者の指定について(加西市ランドマーク展望台) **原案可決**
- 議案第92号 指定管理者の指定について(加西市民会館) **原案可決**
- 議案第93号 指定管理者の指定について(加西市健康福祉会館) **原案可決**

- 議案第94号 指定管理者の指定について(古法華自然公園研修施設) **原案可決**
- 議案第95号 指定管理者の指定について(加西市都市公園) **原案可決**
- 議案第96号 指定管理者の指定について(加西市営駐車場) **原案否決**
- 議案第97号 指定管理者の指定について(加西市体育施設) **原案可決**
- 議案第98号 指定管理者の指定について(オークタウン加西) **原案否決**
- 議案第99号 指定管理者の指定について(玉丘史跡公園) **原案可決**
- 議案第100号 兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増及び規約の変更について **原案可決**
- 議案第101号 兵庫県後期高齢者医療広域連合の規約の制定について **原案可決**
- 議案第102号 平成18年度加西市一般会計補正予算(第3号)について **修正可決**
- 議案第103号 平成18年度加西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について **原案可決**
- 議案第104号 平成18年度加西市介護保険特別会計補正予算(第2号)について **原案可決**
- 議案第105号 平成18年度加西市水道事業会計補正予算(第2号)について **原案可決**
- 議案第106号 平成18年度加西市病院事業会計補正予算(第1号)について **原案可決**
- 意見書案第6号 地方の道路整備の促進と財源の確保に関する意見書(案)について **原案可決**
- 陳情第2号 田原保育園の現状維持を求めることについて **原案不採択**
- 請願第4号 幼稚園教育の充実について **原案採択**
- 陳情第3号 (再)富合幼稚園存続における「加西市幼稚園の休園に関する規程」の弾力的運用を求めることについて **原案採択**



# ちびっこ議員登場 その36



やさしい街 加西に

富田小六年 後藤 啓さん

ぼくは、みんながみんな、助け合い楽しく生きていける、そんな街にしたいです。  
加西市には、お年よりが多く、足腰の悪い人がいます。そんな人たちが困っていたら、通りかか、た人たちが、進んで声をかけたり、手助けをしたりできるような加西市にしたいです。

誇れる街、加西市

加西中三年 井上景太さん

住みよい加西市にするためには緑を大切にしつつ、誰もが一生この加西市に住みたいと思う街作りが必要だと思います。その為には、交通の便を良くし、娯楽施設を充実させると共に、加西市の長所と言える自然を保全していくことが必要です。加西市を誇れる街にしていきたいです。

## 3月議会日程

一度ご覧になりませんか。  
みなさんの代表の質問を!

### ■次回平成19年(3月)加西市議会定例会の日程

月日	曜日	時間	会議
3月1日	木曜日	10:00	本会議
3月5日	月曜日	12:00	発言通告期限
3月8日	木曜日	10:00	本会議(質疑、一般質問)
3月9日	金曜日	10:00	本会議(質疑、一般質問)
3月12日	月曜日	10:00	本会議(予備日)
3月14日	水曜日	9:00・13:00	総務委員会・予算特別委員会(第1日)
3月15日	木曜日	9:00・13:00	厚生委員会・予算特別委員会(第2日)
3月19日	月曜日	9:00・13:00	建設経済委員会・予算特別委員会(第3日)
3月23日	金曜日	10:00	本会議(最終日、委員長報告・採決)

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎42-8790)でご確認ください。本会議の傍聴は市役所議会棟4階でできます。

※質疑・一般質問の内容や発言順序は、3月5日(月)に加西市議会のHP(<http://www.city.kasai.hyogo.jp/gyosei/gikai/index.htm>)に掲載予定です。

## ようこそ! 市議会ホームページへ

加西市議会のホームページ(<http://www.city.kasai.hyogo.jp/gyosei/gikai/index.htm>)では、本会議・委員会の日程をはじめ、発言通告締め切り後には、質疑・一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。

ぜひ一度ごらんになって、関心のある問題が議題である日の本会議や委員会を傍聴してみてください。

また、市議会だよりのバックナンバー(平成14年7月～)、本会議の会議録(平成13年6月～平成18年9月※平成18年12月議会分は3月初旬掲載予定)、最新の議決結果も掲載しています。

### ご存知ですか?

加西議会傍聴規則  
(傍聴人の守るべき事項)

第10条  
傍聴人は、傍聴席にあるときは、次の事項を守らなければならない。

- 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと
  - 談論し、放歌し、高笑しその他騒がたてないこと
  - はち巻、腕章の類をする等示威的行為をしないこと
  - 帽子、外とう、えり巻の類を着用しないこと。ただし、病気その他の理由により議長の許可を得たときはこの限りでない。
  - 飲食又は喫煙をしないこと
  - みだりに席を離れ又は不体裁な行為をしないこと
  - 前各号に定めるもののほか、議場の秩序を乱し又は会議の妨害となるような行為をしないこと
- なお、写真、映画等の撮影及び録音等の禁止(ただし、特に議長の許可を得た者はこの限りでない。)されています。



■議会だよりは、資源保護のため100%再生紙を使用しています。



あなたのご意見を  
お寄せください

市議会だよりは、皆様と市議会をつなぐ【パイプ役】として常に『正確でわかりやすい』をモットーに編集しています。この市議会だよりをよりよいものとしていくため、皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。

